

リーディングDXスクール事業【実践事例】

京都市立八条中学校（京都府）

【取組内容①⑤】「学校CM動画の制作を通じた対話的・協働的な学び、ICTを活用した取組の対外発信」

学校CM動画「HaTube（ハッチューブ）」の制作

- ・日常で感じたことがらや日頃のがんばりなどを、生徒が自ら考え台本を作り、キャストを演じ、撮影し編集。（例：行事、クラス紹介、規範意識について等）
- ・クラスや生徒会が輪番制で動画を制作



輪番で動画を制作

生徒や保護者、学校を訪問した全ての人に見てもらおう取組

- ・制作した「HaTube」を校内の大型モニターを活用して放映する。
- ・懇談会や入学式、卒業式には特別制作した「HaTube」を放映。



生徒自身が台本を考え、撮影・編集することで協働的な学びにつながる

成果

- ・HaTubeの制作を通して、生徒の対話的・協働的な学びにつながる。
- ・生徒の創造的思考力の向上。
- ・生徒のICT活用技術の向上（撮影・編集）。
- ・保護者や学校訪問者も楽しみに見ていただける。
⇒生徒のICT活用に対する関心がup。



HaTubeを通して生徒の対話が増加